学校番号	３１７

平成 30 年度　保健体育科

教科	保健体育	科目	体育	単位数	２単位	年次	３年次男子
使用教科書							
副教材等	ステップアップ高校スポーツ（大修館出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・集団行動や各種目の中で、自己の能力に応じて基礎基本の技能の習得を目指そう。
・補強運動、基本練習によって「、基礎体力を維持向上させよう。
・自己の能力に応じた役割を果たし、試合および練習を工夫出来るようにしよう。
・選択体育においては、自己の能力に応じて、自主的に活動出来る態度を養い、将来もスポーツを楽しんでいける実践力を身につけよう。
・自他の運動を観察し、分析することで興味・関心を高め、運動の楽しさや喜び、達成感を一緒に味わおう。
・運動をする・見る・支える・調べるといった関わりを学び、自分にあったスポーツライフを考えてみよう。

2　学習の到達目標

各種の運動の合理的な実践を通して、運動技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうことが出来るようにするとともに、身体の調子を整え、体力の向上を図り、公正、協力、責任などの態度を育て、生涯を通じて継続的に運動が出来る資質や能力を育てる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断	c:運動の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	自ら進んで運動の楽しさや喜びを味わおうとする。健康や安全を確保して学習に主体的に取り組もうとする。結果や勝敗を受け入れ、自他の技能を客観的に判断できる。公正・協力・責任・ 参画などの態度を身に付ける。	知識を活用し、技能向上につなげる。自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取組を工夫できる。運動を継続したり、体力や技能向上をするための計画を考えることができる。学習で得た成果を自ら応用・発展させ、実 生活に生かせる。	記録や技能向上に挑戦する。運動の合理的な実 践を通して、種目特性に応じて勝敗を競ったり、攻防を展開したり、表現するための各領域の運動特性に応じた段 階的な技能を身に 付ける。仲間と連携・協力して各種目を楽しむ。	運動の技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、練習や発表の仕方、スポーツを行う際の健康・安全の確保の仕方についての具体的な方法を理解している。スポーツの歴史、文 化的特性、スポーツとの関わり方について理解している。
評価方法	受講態度の観察 ノートレポート 等	ノート レポート 体育理論のテスト 等	技能観察 ノート 等	ノート レポート 体育理論のテスト 等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			A	b	c	d		
	陸上競技(やり投げ)	やり投げ フォームの習得・記録会 安全指導	○	○	○	○	a:やり投げの楽しさや喜びを味わうことができるようにマナーやルールを大切にしようとすることや自己責任を果たそうとすることなど、健康や安全を確保して、自主的に取り組もうとしている。 b:生涯にわたってやり投げを豊かに実践するための自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。 c:やりのリースポイントが野球投手の リリースポイントよりかなり早いことを理解し、やりの動きが直線的であることを体感する。 d:技術や技の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法を理解している	受講態度の観察 ノート レポート 技能観察
	ハンドボール	個人技能 パス・ドリブル・シュート アウトナンバープレー	○	○	○	○	a:ハンドボールの楽しさや喜びを味わうことができるよう、フェアプレイを大 切にしようとすること、自己責任 を果たそうとすること、作戦などについての話合いに貢献しようとすることなどや、健康や安全を確保して、自主的に取り組もうとしている。 b:生涯にわたってハンドボールを豊かに実践するための自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。 c:ハンドボールの特性に応じ、オフェンス側は出来るだけ有利な状況でシュートが出来るようにゲーム展開をするための作戦、技能や仲間との連携した動きを身につけている。 d:技術や技の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法を	受講態度の観察 ノート レポート 技能観察

							理解している。	
	陸上競技（3種）	100m 砲丸投げ 走り幅跳び	○	○	○	○	a：３種目で競い合う楽しさや喜びを味わうことができるようにマナーやルールを大切にしようとすることや自己責任を果たそうとすることなど、健康や安全を確保して、自主的に取り組もうとしている。 b：走・投・跳の自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。 c：競技会の計画・運営を主体的におこない、ルールを守り、自主的に 取り組むことができている。 d：技術や技の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法を理解している	受講態度の観察 ノート レポート 技能観察
	水泳	クロール・平泳ぎ・背泳の復習 バタフライ 個人メドレー	○		○	○	a：各泳法の楽しさや喜びを味わうことができるようにマナーやルールを大切にしようとすることや自己責任を果たそうとすることなど、健康や安全を確保して、自主的に取り組もうとしている。 b：生涯にわたって各泳法を豊かに実践するための自己の課題に応じた泳法の取り組み方を工夫してい る。 c：各種目の特性に応じた、各種目、演技特有の技能を身につける。 d：技術や技の名称や行い方、体力の 高め方、運動観察の方法を理解している	受講態度の観察 ノート レポート 技能観察

	球技 ネット型 ゴール型	ゴール型 サッカー	○	○	○		a:球技の楽しさや喜びを味わうことができるよう、フェアプレイを大切にしようとすること、自己責任を果たそうとすること、声かけ・掛け声を大切にしている、作戦などについての話合いに貢献しようとすることなどや、健康や安全を確保して、自主的に取り組もうとしている。 b:生涯にわたって球技を豊かに実践するための自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。 c:球技の特性に応じてゲームを展開するための作戦に応じた技能や仲間との連携した動きを身につけている。 d:技術や技の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法を理解している。観察のポイントや楽しみ方を知っている。	受講態度の観察 ノート レポート 技能観察
		選択授業	○	○			a:各種目の楽しさや喜びを味わうことができるように勝敗を冷静に受け止めること、よい演技を讃えようとすること、マナーやルールを大切にしようとすることや自己責任を果たそうとすることなど、健康や安全を確保して、自主的に取り組もうとしている。 b:生涯にわたって各種目を豊かに実践するための自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。 c:各種目の特性に応じた、各種目、演技特有の技能を身につける。 d:技術や技の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法を理解している。	

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断
c:運動の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。